

《特別講師 福井 烈プロの紹介》



1957年6月22日生まれ

福岡県北九州市出身

小学校5年生の頃、兄 雄治氏の影響でテニス始める。本格的に取り組んだ中学より優れた才能をあらわし、名門柳川商業高校(現柳川高校)時代は、インターハイ3連覇を含む169連勝という記録をうちたてた。その後2年間アメリカ留学、帰国後は学生タイトルを総賞めにし、77年史上最年少(当時)の20歳で全日本のチャンピオンとなる。

続けて78年、79年と3連覇の偉業を達成し、華々しくプロテニス界にデビュー。

正確なストロークと軽快なフットワークでベースラインを守り、チャンスを見てはネットに出るオールラウンドプレイヤーとして活躍し輝かしい戦績を収めた。

92年より5年間デ杯監督を務め、その後(公財)日本テニス協会常務理事、JOC(日本オリンピック委員会)常務理事に就任。

現在は「スポーツは人の心を動かし、国を元気にする！」をモットーに、全国各地のスポーツイベントに奔走し、テニスはもとより多くの人にスポーツの楽しさを味わってもらおうべく奮闘中。

全日本選手権シングルス優勝7回の史上最多記録保持者

デビスカップシングルス史上最多勝利27勝

(公財)日本テニス協会 専務理事 ・オリンピック準備委員会 委員長

(公財)日本オリンピック委員会 常務理事

・選手強化副本部長

・東京2020戦略特別専門部会長

スポーツ庁参与

味の素ナショナルトレーニングセンター 副センター長

北九州市スポーツ大使 四日市市観光大使